

あなたと博物館

M HIRATSUKA CITY MUSEUM '90 6月号

出前しています。博物館

寿司やラーメンの出前はおなじみだと思いますが、「博物館の出前」とは、聞きなれないと思います。博物館では、これまで収集した資料、調査研究の成果を各地区公民館や学校で展示・公開したり、「自然観察会」「星を見る会」などの博物館事業を希望によって「出前」しています。

下の2枚の写真をご覧ください。今年度はこれまで（5月末日現在）、「平塚の野鳥展」と「中原上宿遺跡展」を実施しました。昨年度は「星を見る会」（大野公民館・神田公民館）、「平塚の野鳥展」（大野公民館）、遺跡展（松が丘公民館）を実施しました。

多くの市民のみなさんや子どもたちに利用していただけることが、博物館職員のやりがいにもなっています。本年度もさらにみなさんの中に入り込んだ博物館事業を進めていきたいと考えています。



平塚の野鳥展 金目公民館 4月28・29日



中原上宿遺跡展 中原小学校 4月14～27日

移動博物館（中原小学校6年生の感想より）

- 昔の人たちが、これをさわっていたと思うとドキドキしました。
- 土器などがたくさん出てきたらしいけど、いろいろなものが見れて、とっても昔の人たちは自分たちが、生きるために工夫していたんだなあと思った。
- 昔の人たちの知恵は、今の私たちよりすごかったかも知れない。
- この平塚市の私たちが住んでいる身近なところにも昔の人たちが使ったいろいろな土器や道具がたくさんあったということをはっきりと知りました。昔のものなどを大切に生かして学びたいと思いました。



~~~~~ 上記の写真は昭和22年米軍撮影の写真ですが、現在の平塚  
警察署周辺地域を残し、そのほとんどが焼失しています。 ~~~~~

太平洋戦争下、平塚市は昭和20年代に入りたびたび空襲を受けています。現在知られているものだけでも12回におよびます。その中でも昭和20年7月16～17日の空襲は忘れることのできない空襲の一つです。

米軍の記録によるとB29爆撃機133機による大空襲で、たちまち旧市街地のほとんど、周辺部が業火に包まれ一面火の海と化しました。この空襲で市街地は見渡す限りの焼け野原と化し、全戸数の約70パーセント、7200戸が焼失したといわれ、死者の数も343名以上に上ったといわれています。がしかし、負傷者はもとより、その焼失面積等についても戦後45年を経た今なお、その正確な数は把握されていません。

そこで今回の展示では、現在判明している空襲に関する記録と資料を市民の皆様のご寄贈品を中心に展示し、空襲の実態に迫りたいと考えます。平塚の空襲は、平塚の歴史上その

例を見ない災禍であり、尊い人命と数々の財産が失われました。

平塚市博物館では平成元年6月より、市民の皆様方とともに「平塚の戦災と空襲を記録する会」を発足させ、このような空襲の事実を後世に伝えるべくさまざまな調査活動を進めております。この記録する会の目的は、戦争がもたらした多くの不幸な体験と悲惨な事実をできるだけ掘り起こし、正確な記録を後世に伝えて行くことです。

今、市内の調査を進めていますが、45年を経た今日でも市内各地域に空襲の傷跡を見ることができます。その一つに、今でも残る焼けただれた電柱を市内追分に見ることができます。この展示を機会にそうしたものの情報を是非お寄せ下さい。また、空襲・戦争に関する資料も収集しております是非御寄贈くだされば幸いです。

## 早起きは3文の得

〈漂着物を拾う会より〉

今年から新しく始まった行事に「漂着物を拾う会」があります。早朝の海岸を散歩しながら、砂浜に打ち上げられているいろいろな物を集めてみようという会です。土曜日の朝6時集合という時間では、ほとんど参加者がいないのではないかと心配でしたが、1回目、2回目とも約15名の参加があり、楽しく会を進めることができました。集めるものは、打ち上げられたものであれば何でも構いません。今迄に次のようなものが集められました。貝がら／平塚海岸ではいちばん多いのはバカガイのようです。

海草／嵐の後の5月6日には10種類以上が集まりました。

カニ／海のカニのほか、川に上るモクズガニも見つかりました。

魚／目久尻川で毒が流れて魚が死んだためか、フナも打ち上がりました。

クルミ／山から川によって運ばれたクルミの実がたくさんあります。

ウメの種／梅干しの種も流れ着いています。クラゲ／カツオノエボシの浮袋は青くてきれいです。

会員で茅ヶ崎にお住まいの井川さんは長年茅ヶ崎海岸で打ち上げを集めておられます。この方のお話では、アラビア文字やハングルの書かれたビンやカンも見つかるそうです。船から捨てられたものか、あるいは遠く外国から黒潮に乗って運ばれてきたのでしょうか。夢のある打ち上げ拾いにあなたも参加してみませんか。

〈これからの予定〉

日：6月9日(土)・16日(土)

7月7日(土)・28日(土)

時間：午前6時～7時

場所：花水川河口付近

申込み：参加を希望される方は往復ハガキで申し込んで下さい。いつでも受け付けています。



### ■博物館協議会新委員のご紹介

平塚市博物館の運営等について、それぞれの専門分野から各種の諮問をいただいている博物館協議委員の先生方が、平成2年5月1日付けで改選されましたのでお知らせ致します。

〈退任〉 井出栄二委員  
片倉 満委員

〈新委員〉  
協議会会長 山本侖一委員(留任)  
副会長 守矢淳一委員(留任)  
青木 斌委員(留任)  
金子皓彦委員(留任)  
山崎執子委員(新任)  
高橋賢次委員(新任)

### ◆◆◆◆ 博物館の新しい出版物 ◆◆◆◆

新しく下記の出版物が刊行されました。

- ・年報13号(550円)  
昭和63年度の博物館活動全般にわたる報告書。
- ・自然と文化13号(1000円)  
博物館の研究活動の報告書。内容は「1989年太陽黒点」・「相模川河川敷で採集されたガ類について」・「明治36年神奈川県中郡豊田村々是調査書」の3編。
- ・湘南植物誌IV(850円)  
湘南の植物の分布調査をまとめた「湘南植物誌1～3」の補遺と分布図集。調査と資料整理は植物誌調査会の多大な協力による。
- ・星空12カ月(ガイドブック10)(600円)  
博物館の調査活動を通して集めた資料や写真をもとに作られたスターウォッチングの入門書。

❖❖❖❖ 行事案内 ❖❖❖❖

| 6月        |   |                                                                                                      |
|-----------|---|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 9         | 土 | 漂着物を拾う会(花水川河口)<br>古文書講読会<br>石仏を調べる会<br>土曜観察会(雑木林の花)<br>ナチュラルリスト講座<br>(箱根の自然と動物)                      |
| 10        | 日 | 体験学習(裏打ち)                                                                                            |
| 16        | 土 | 漂着物を拾う会(花水川河口)<br>平塚空襲と戦災を記録する会                                                                      |
| 17        | 日 | 相模川を歩く会<br>天体観察会(太陽)                                                                                 |
| 23        | 土 | 古文書講読会<br>石仏を調べる会<br>土曜観察会(新聞作り)                                                                     |
| 6/8~7/29  |   | 寄贈品コーナー: 平塚の空襲と戦災                                                                                    |
| 7/15まで    |   | プラネタリウム:<br>ほうき星がやってきた                                                                               |
| 7月        |   |                                                                                                      |
| 7         | 土 | 漂着物を拾う会(花水川河口)                                                                                       |
| 14        | 土 | 古文書講読会                                                                                               |
| 15        | 日 | 身近な生き物調査                                                                                             |
| 21        | 土 | 平塚空襲と戦災を記録する会                                                                                        |
| 22        | 日 | 星を見る会(部分日食をみる)                                                                                       |
| 25        | 水 | 夏休み自由研究相談会<br>サマーセミナー ガイダンス                                                                          |
| 28        | 土 | 古文書講読会<br>石仏を調べる会<br>ナチュラルリスト講座<br>(セミのぬけがら探し)<br>天体観察会(スターウォッチング)<br>土曜観察会(夏の雑木林)<br>漂着物を拾う会(花水川河口) |
| 29        | 日 | 相模川を歩く会                                                                                              |
| 7/21~8/30 |   | 夏期特別展:<br>イーハトーブ花巻・くらしと文化                                                                            |
| 7/21~9/2  |   | プラネタリウム: 宮沢賢治の双子の星                                                                                   |

■サマーセミナー参加者募集

2泊3日の生活を共にし、市内の土屋地区の自然や歴史、人々の暮らしの様子についていくつかのテーマでグループに分かれて観察します。

- ・期間: 8月7日~8月9日(2泊3日)
- ・会場: 七国荘(市内土屋)
- ・対象: 小学校5年生~中学3年生まで
- ・募集人数: 30名(申込みが多数の場合は抽選します)
- ・申込み: 案内書(申込書)は博物館受付にあります。または62円切手同封の上、封書で請求してください。
- ・応募締切: 7月12日必着



■プラネタリウム投影のテーマ

「ほうき星がやってきた」  
毎日の星空の解説と星座の紹介や今春話題を呼んだ彗星のお話をします。  
(7月15日まで)

投影時刻: 土曜日 14時  
日曜日 11時・14時

■夏休み中の団体観覧予約受付中

夏休み期間中のプラネタリウム投影の団体観覧予約を受け付け中です。予約できるのは20名以上の団体で、投影時刻は毎週水・木・土曜日の11時開始の投影に限ります。  
投影内容は、夏の星空の解説と、夏期特別展「イーハトーブ花巻・くらしと文化」開催を記念して宮沢賢治の童話「双子の星」を紹介する予定です。